

水道水の硬度低減化へ

知名町

新上城浄水場建設で地鎮祭

【沖水良郎総局】知名町の水道水硬度低減化施設を含む「新上城浄水場」建設工事の地鎮祭が30日、同町上城の建設予定地であった。関係機関、業者、団体などから約40人が出席し、工事の安全を祈願した。沖水良郎氏は琉球石灰岩



に覆われ、河川が少なく、水源は地下水に依存している。地下水は石灰成分を多く含む、通常の浄水処理では除去できないため、石灰の付着、蓄積による水道機器の機能低下、漏水に伴う交換・修理件数の増、各家庭での軟水器や飲料水購入による経済的負担増などが同町の課題となっている。硬度低減化に向けては、現在5カ所に分散している浄水場を高台(上城)に統合し、新たな浄水場に電気透析法(EDR法)による硬度低減化施設を整備。硬度100mg/L(ミリグラムパーリットル)以下の水を提供するとともに、9カ所ある水源を再編し、新たに開発する2カ所を含めて4カ所に集約する。2023年度から工事に着手しており、事業費は水道施設再編推進事業33億930万円、水道管緊急改

善事業7億7546万円。26年度までに施設、管路工事とも完了し、27年度に運用開始予定としている。

新上城浄水場は敷地面積7114平方メートル。着水槽、原水ポンプ棟、EDR棟、浄水池などの施設を整備する。

秋篠宮二家、沖縄豆記者と面会

秋篠宮夫妻と次女佳子さま、長男悠仁さまは30日、沖縄県から派遣された小学5年(中学3年)の豆記者35人と、赤坂御用地(東京都港区)内の赤坂東邸で面会された。

宮内庁によると、面会は約30分間で、冒頭、秋篠宮さまが「この機会に見聞を広めてもらいたい」などとおあいさつした。二家は豆記者から沖縄の自然や文化、学校の様子などについて話を聞き、質問した。豆記者との面会は、皇太

「島の魅力満喫し、くつろいで」

与路島

瀬戸内町の与路島に今月1日、島の自然や文化を紹介するビジターセンター「Oie Oie(オーレオーレ)」が開所した。敷地内には、与路島観光商工協会が運営するツアー窓口や有機野菜を育てる農園のほか、8月10日にオープンする同島の飲食機能を伴うカフェがあり、同協会の榮勝水会長(72)は「与路島の魅力を深く知って満喫し、施設でくつろいでほしい」と来所を呼び掛けている。



オーレは、与路島の方民家を改装した。同施設で「いらっしやい」の事業主TARGET意味。敷地面積は約100JAMM(本店・福井県08平方メートル、建物10平方メートル)、同島には宿泊

ビジターセンターOie Oie開所

8月10日にカフェもオープン

ビジターセンター「Oie Oie」の来所を呼び掛ける(左から)与路島観光商工協会の榮勝水会長、カフェの運営者・藤田麻衣子さん、調理担当の藤田蒼亮さん。16日、瀬戸内町の与路島



地場産食材をふんだんに使ったカフェのランチ=16日、瀬戸内町の与路島

施設はあるものの、食事処やコンビニ、自動販売機がなく、来島する前に食べ物などを用意する必要があった。また、島の歴史や自然文化を観光客に伝える施設がなかったため、同社とその親会社で地域創生などに取り組む「TARGETグループ」(本社・大阪市)が自主事業としてビジターセンターを立ち上げた。与路島は6月末現在の人口は45人。5年前は74人、10年前は86人だった。榮会長は「これだけ人が減ったら見所があっても手入れが行き届かなく、与路にも戦跡があるが、行くまでの道が舗装されていない。関係人口の増加による観光地整備にも期待したい」と話した。

30日は丹波市以外に今年全国で初めて40度以上になる所が相次ぎ、京都府福知山市で40・6度、岡山県真庭市で40・3度、兵庫県西脇市で40・0度を観測した。これらを含め、近畿と

自他発見できる学級へ

奄美市教委

「あまみっ子」すこやかプログラム研修会

小中学校の教職員を対象とした「あまみっ子」すこやかプログラム研修会(奄美市教育委員会主催)が30日、奄美市名瀬の奄美川商ホールであった。奄美大島

兵庫・丹波

国内史上

東北から九州では30日も晴れ、最高気温35度以上の猛暑日になる所が多かった。気象庁によると、兵庫県丹波市で午後2時39分に41・2度を観測し、国内観測史上最高記録を更新した。

これまでの記録は埼玉県熊谷市で2018年7月、浜松市で20年8月にそれぞれ観測した41・1度だった。